



WESTERN ARMS

ウエスタン アームズ <http://www.wa-gunnet.co.jp>

M4A1 CARBINE OWNER'S MANUAL

●対象年齢18才以上

AIRSOFTGUN

監修：くろがね ゆう

●Ver.1.5 (2008年4月)



注意

●この商品は、低圧ガスでBB弾を発射する、18才以上用のエアソフトガンです。取扱い説明書を良く読んで「安全」に「マナーを守って」ご使用ください。
●WA「マグナ」ブローバックは、ウエスタンアームズが独自で開発し、世界各国で特許を取得したメカニズムです。無断なコピーおよび盗用を禁じます。

■事故のないように安全にご使用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ず最後までお読みください。

警告

当製品は、18歳以上を対象としたスポーツ・シューティング・ガンです。

取り扱いを誤った場合「失明」や「ケガ」の危険があります。取り扱いには十分ご注意ください。誤った取り扱いによる故障や事故、ケガ等については、当社では一切その責任を負いません。また「取扱説明書」はお読みになった後も、必ず保管しておいてください。もし紛失した場合は、すぐに当社までご請求ください。(その際の費用はお客様のご負担となります。ご了承ください)

取り扱い上のお願ひ

- ガス・ボンベは、WAニュー・スーパー・ガスをご使用ください。他社製品を使用すると、ガス・ボンベの口金が合わず注入できない場合もあります。
- ガスガン用以外のガス(ライター用ガス等)や高圧ガス等は絶対に使用しないでください。故障や作動不良等の原因となります。
- 圧力を故意に上げるために、ガス・ボンベや銃本体及びマガジンを暖房器具や熱湯等で加熱することは絶対にしないでください。爆発する恐れがあり大変危険です。
- 当製品に使用するガスが直接体にかかると、低温ヤケド等の恐れがあり大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。
- BB弾はWA純正をご使用ください。他社製のBB弾を使用すると銃身内に弾が詰まったり、正常に発射しない等、故障や作動不良の原因となります。
- 一度使用したBB弾や、汚れたり、変形したBB弾は、絶対に使用しないでください。故障や作動不良を引き起こす原因となります。
- 指定以外のガス・ボンベやBB弾を使用して発生した故障や事故、事件等については、当社では一切責任を負いません。
- 当製品に使用するガス・ボンベやBB弾、オイル等は対象年齢以下の子供が手を触れないように、十分ご注意ください。また、飲込む等すると健康を損なう恐れがあり、大変危険です。
- 当製品は、外装にプラスチックを使用しています。そのため金属用オイル(CRC等)を使用すると亀裂等が生じる場合があります。また、洗剤やシンナー等は銃の表面を傷つける恐れがありますので絶対に使用しないでください。
- 純正品以外の部品による、改造や加工は絶対にしないでください。それらによって発生した事故・故障・ケガ等については、当社では一切責任を負いません。
- 純正品以外の部品等を組み込んだ製品の修理は、お断りする場合があります。あらかじめご了承ください。
- 当製品は約3キログラムの重量があり、落下させると事故やケガを引き起こす恐れがあります。取り扱いには十分ご注意ください。
- 廃棄処分にする際は、ガスやBB弾が入っていないことを必ず確認してください。また、マナーとして銃をむき出しにしないで、付属の箱等に入れて処分してください。またその際は「処分する玩具」であることを明記するようにしましょう。

	
<p>! 射撃の直前まで、引き金には指をふれない習慣を身につけておいてください。射撃するとき以外は常にセフティをかけてください。</p>	<p>⊗ むやみに銃を振り回したり、人通りの多いところや他人に迷惑を及ぼすところで使用することは絶対にやめてください。</p>
	
<p>⊗ 必ず持ち主の責任で確実に管理し、対象年齢未満の小児等の手が届かないようにしてください。</p>	<p>⊗ 射撃の際には必ず耐衝撃性のゴーグルを着用し、不測の事故によるケガ等のないように安全には十分お気を付けてください。</p>
	
<p>⊗ 銃に弾が入っていないにもかかわらず、銃口を人に向けて、銃口をのぞくことは、絶対にしないでください。弾が当たった場合、失明やケガの危険があります。</p>	<p>⊗ マナーとして銃を持ち運ぶときは必ずケース等に入れて持ち運んでください。銃をハダカで持ち歩かないでください。</p>
	
<p>⊗ むやみに改造したり、強い圧力のガスを使用したりすると大変危険です。また場合によっては法律違反で処罰されることもあります。絶対にやめてください。</p>	<p>⊗ 射撃は広い所で、銃口の前に人や動物がいないこと、ガラス等のこわれやすいものがないこと、硬いもの等で跳弾の危険がないこと等を確認してからスタートしてください。</p>

M4アサルト・カービン——特殊部隊が選んだ銃

くろがね ゆう

1970年代末、NATOはそれまで使用していた統一標準弾7.62mm×51(SS77、米軍制式名M80)を変更し、ベルギーのFN社が開発した新型の5.56mm×45弾(SS109米軍制式名M855)を制式採用した。

これは米軍が採用していた5.56mm×45(米軍制式名M193)と外形的には同じだが、弾丸重量や火薬量が多いため、弾道性能が異なっていた。マシンガンで使用した時の遠射性能を上げ、高度化した防弾チョッキへの貫通力を高めるためと言われている。

この弾薬をそのまま従来のM16A1で使用すると、弾道性能が異なるためサイトが適合しないばかりか、命中率も低下するなど多くの不都合が生じることとなった。

そこで新弾薬に合わせて部分的なリニューアルが図られたのがM16A2だ。主な変更点はサイトだが、そのほかにも肉厚のヘヴィー・バレルの採用、排出される空薬莖を前方へはね返すためのディフレクターの追加、ライフリングのピッチ変更、マズル・ブレイキの機能も兼ねていたフラッシュ・サプレッサーにコンベンセイターの機能も持たせた、などである。また弾薬とは直接関係ないが、ハンドガードを滑りにくい形状に変更し、フルオート発射機能の代わりに3バースト(3点射)機能が組み込まれた。

1982年にM16A2が制式採用されると、すぐに特殊部隊向けの全長の短いカービン・バージョンの検討もなされたという。M16A1のカービン・バージョンとしてはXM177E2などがあったが、M855弾に合わせた同様のバージョンが求められていたのだ。しかもテロの頻発などで特殊部隊の需要と活躍の場も拡大していた。

そこで開発されたのがM4カービン。1994年に制式採用された。これはキャリング・ハンドルがアッパー・レシーバーと一体だったが、コルト社はすでに1992年にキャリング・ハンドルを取り外すことが可能なフラット・トップ・

アッパー・レシーバーを開発していた。政府はすぐにそれを採用することに決め、M4A1と名付けた。その結果、プロトタイプ XM4と1ロット分のM4だけが固定キャリング・ハンドルで、あとはすべてM4A1ということになってしまった。

あらためて政府は公式にはM16A2と同じ3バースト・モードを持つものをM4、3バーストのかわりにフルオート・モードを持つものをM4A1と呼ぶことにした。どちらもフラット・トップ・アッパー・レシーバー仕様だ。

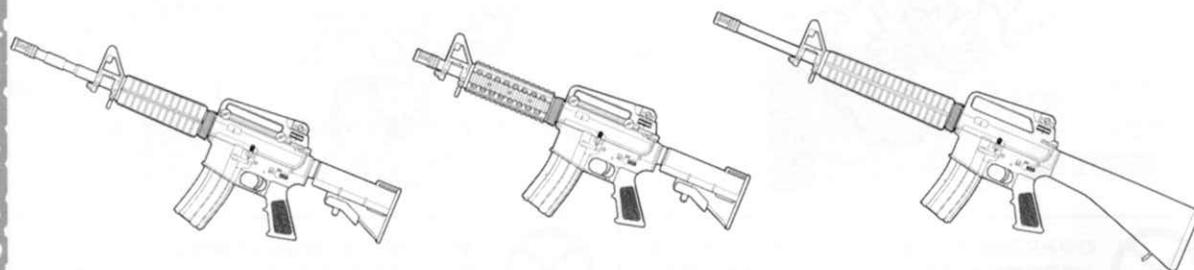
M16A2ライフルとM4/M4A1カービンだけで、すべての多様化する任務に対応するのは難しい。特殊部隊を統括する国防省のUSSOCOM(合衆国特殊作戦司令部)では、各種アタッチメントをモジュラー化し、SOPMOD(特殊作戦用装備)キットとして作戦ごとに選択して使用できるようにした。

しかし、それでも要求を満たせないことがあり、各特殊部隊ごとのSOCOMにより、SCAR(特殊部隊戦闘アサルト・ライフル)プログラムに基づき、バリエーションが作られ使用されている。

その1つがCQBRで、海軍のNSWCによってデザインされた。かつてのコルト・コマンドに相当するサブマシンガン・タイプの短銃身バージョンだ。ただ、これは必要に応じてアッパー・レシーバーを交換して使うため、CQBR(Close Quarters Battle Receiver)と名付けられた。主に海軍特殊部隊用および特殊任務用として2000年から配備が始まった。

ほかにも長距離射撃を実現するSPR(Special Purpose Receiver)や、水中発射を実現するOTBR("Over The Beach" Receiver)などが知られている。

進化を続けるM4ファミリーは、今後も世界最強の特殊部隊用小銃として君臨していくことだろう。



左側面



右側面



マガジン



セット内容

- 銃本体
- 取扱説明書
- ローダー・セット
- アンケートはがき
- 試射用標的 × 1 枚
- 試射用 BB 弾 × 100 発

別売オプション

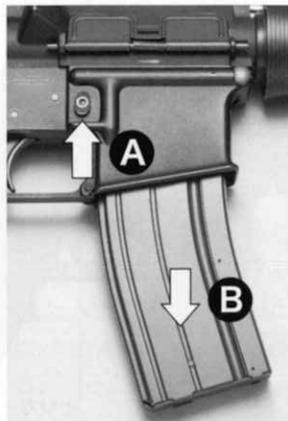
マガジン・ブーツ(色 ブラック OD他あり)
5個セット 3,980円(税込4,179円)
3個セット 2,980円(税込3,129円)
マガジンに底部に付けるマガジン・バンパー。マガジン・ポーチからの取り出しが容易になり、落下時の衝撃も和らげます。



操作—マガジンの準備

1 マガジンを抜く

マガジン・キャッチを押して(A)、マガジンを下方に抜き取ります(B)。



警告 マガジン・キャッチを押すと、マガジンは自重で抜け落ちることがあります。高い位置から落下させると、事故や怪我、および部品を破損することがあります。手でマガジンをしっかり持って抜き出してください。

3 ガスを入れる

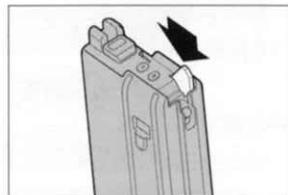
マガジンの背面を上にして、チャージ・バルブにガス・ポンベのノズルを20秒間ほど押し付けてください。チャージ・バルブからガスの吹きもどしがあれば満タンです。

※ガスは1マガジン分(50発)撃つごとに補充した方が、より安定した作動が得られます。



警告 体に直接ガスがかかると、低温ヤケド等の恐れがあり大変危険です。取り扱いには充分注意してください。また子供が手を触れないように注意してください。

ガスが無くなった時は、バルブ・ロックを押し下げてからガスを注入してください。

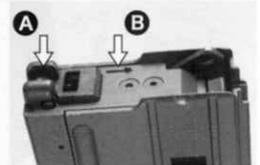


ガス・ポンベは、マガジンのチャージ・バルブに対して垂直に押しつけてください。角度を付けた状態では正しく注入できません。



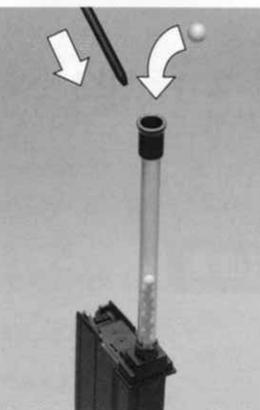
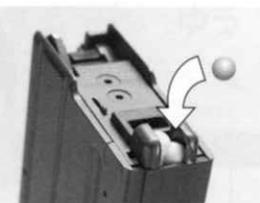
空撃ちモード

WAのM4シリーズは最終弾を発射し、BB弾がなくなると自動的にボルトが後退位置で停止する機構がついています。しかし、このままではBB弾を詰めずにブローバックのアクションだけを楽しむこと(空撃ち)ができません。そこで、BB弾がマガジンに詰まっていなくてもボルトを後退位置で止めないようする「空撃ちモード」をマガジンに装備しました。「空撃ちモード」に切り替えるには、マガジン・フォロアーをローディング・ロッドなどで1発分ほど押し込みながら(A)、フォロアー・ロック・レバーを前方(銃口側)へ移動させます(写真は後方(右)にあるので通常モード)。なお「空撃ちモード」でもBB弾を詰めて射撃することもできます。ただこの時はBB弾がなくなってもボルトが後退位置で止まることはありません。



2 BB弾を詰める

マガジン上部からBB弾を詰めます。指で1発ずつ押し込むこともできます。ローダーを使えば、一度に25発を詰めることもできます。まずマガジンにローダーを固定し、次にBB弾を上方から入れ、ローディング・ロッドで一気に押し込みます。装弾数は最高で50発です。これ以上は詰めないでください。



注意 使用しない時はマガジンからBB弾を抜いておくようにしてください。マガジン・スプリングに負担をかけ部品の変形や破損、および装弾不良の原因となります。

4 マガジンをもどす

マガジンを本体にもどします。カチッと音がするまでゆっくりと押し込んでください。

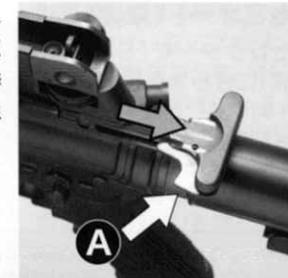


警告 マガジンと本体の間に、指をはさまないように充分気をつけてください。またマガジンを力まかせに押し込むことは、部品の破損を引き起こしますのでおやめください。

操作—チャージング

5 初弾を装填する

チャージング・ハンドル・ストッパー(A)をはずすようにチャージング・ハンドルを持ち、後方へ一杯まで引き、手を放します。



警告 チャージング・ハンドルを操作する時、力まかせに引っ張らないようにしてください。部品の破損の原因となります。おやめください。

6 閉鎖の確認をする

ボルトが完全に閉鎖していれば(右の写真)、BB弾を発射することができます。セレクトターを合わせるに進みます。



この時、チャージング・ハンドル・ストッパーがちゃんと掛かっているか確認してください(A)。掛かっていない時は手でチャージング・ハンドルを押し込みます。



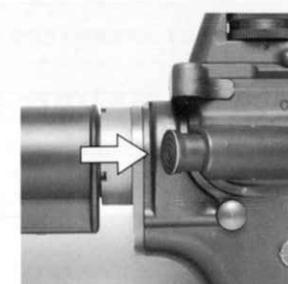
警告 装填の操作の時にトリガー(引金)に指を掛けていると、暴発する恐れがあり大変危険です。射撃する時以外はセフティ(安全器)を掛け、トリガーに触れないでください。

7 フォワード・アシスト・ノブを使う

ボルトが不完全閉鎖の時は、フォワード・アシスト・ノブ(矢印)を指で押し込み、強制的にボルトを前進させて閉鎖してください。

ただし、軽い力で押し込むことができない場合は、異物が混入したなどの原因が考えられますので、まずマガジン・キャッチを押してマガジンを抜き、チャージング・ハンドルを引いてボルトを後退させ、内部を確認してください。異物などがあれば取り出します。

もし異物が見つからないか、異物を取り出しても同じ状態の場合は、部品の破損等のほかの原因が考えられますので、販売店等にご相談ください。



8 ダスト・カバーを使う

ダスト・カバーはホコリなどが機関部内に侵入するのを防ぐためのものです。ダスト・カバーは撃ち終わったらすぐ閉めると効果的です。ダスト・カバーを閉めるにはフタの部分を本体に押し込むようにします。ストッパーが作動して留まります。このままでもBB弾を発射するか、チャージング・ハンドルを操作すると自動的に開きます。



9 セレクトターを合わせる

セーフ(安全)

初弾を装填し、閉鎖を確認したら、セレクトターを合わせます。すぐ撃たないのであればまず「SAFE」(安全)に合わせます。これでトリガーは引けなくなります。



フルオート(連発)

セレクトターを「AUTO」(連発)に合わせると、トリガーを引いている間、BB弾がある限り連続してBB弾を発射することができます。



セミオート(単発)

セレクトターを「SEMI」(単発)に合わせると、トリガーを1回引くごとに1発のBB弾を発射することができます。



警告

エジェクション・ポート(ダスト・カバーがはまる開口部)内は、ボルトが勢良く前後しますので、指をはさんだり物を巻き込まれたりしないよう、注意してください。怪我をする恐れがあります。

注意

長いフルオート射撃をすると、マガジンが急激に冷えるためガス圧が低下し、発射速度が落ちたり、BB弾の発射ができなくなることがあります。実銃でも効果的とされる3発くらいの短連射(ショート・バースト)が有効です。特に冬期などはマガジンの冷え過ぎに注意してお楽しみください。

警告

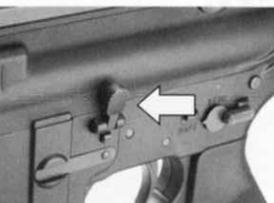
不注意な発射は失明や怪我等の危険があります。発射する際は、銃口の前には人や動物がいないこと、壊れやすいものがないこと、跳弾の危険等がないことを必ず確認してください。

10 ボルト・キャッチ

全弾を発射し終えると、ボルトは後退位置で停止します(マガジンが空撃ちモードになると停止しません)。この時は本体左側にあるボルト・キャッチの上部(矢印)を指で押し込むと、ボルトを閉鎖位置へ前進させることができます。

BB弾を詰めた新しいマガジンに差し替えた後、ボルト・キャッチ上部を押し込めば、チャージング・ハンドルを使わなくても初弾を装填することができます。

また、何かの理由で射撃途中でボルトを後退位置で止めなくなった時は、ボルト・キャッチの下方を押し込んだ状態でチャージング・ハンドルをいっぱいまで引くと、強制的にボルトを後退位置で止めることができます。



注意 ガス切れや、連続発射等でガス圧が低下すると、ボルト・キャッチが掛からなくなります。ガスを補充するか圧力が回復するまで間を置いてから使用してください。

マガジン・ブーツ

マガジン底部に取り付ける樹脂製のアクセサリです。指を引っかける穴があるため、マガジン・ポーチからマガジンを確実に素早く抜き出すことができます。

また、マガジン・ポーチ内でマガジン同士がぶつかって大きな音を立てるのを防ぎます。

さらに、マガジンを落下させた時には衝撃を吸収するバンパーの働きをし、マガジンを保護します。装着の際きつてうまく入らない時は、ヘアードライヤーなどで温めると入れやすくなります。



5個セット 3,980円(税込4,179円)
3個セット 2,980円(税込3,129円)
色:ブラック OD他

11 射撃終了

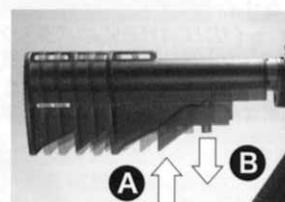


射撃を終了する時は、まずセレクトターをセーフに合わせ、次にマガジン・キャッチを押してマガジンを抜きます。そしてチャージング・ハンドルを引いてボルトを後退させ、銃身(薬室、チャンバー)内にBB弾が残っていないことを確認します。(チャンバー・クリア)もし残弾がある時は抜き取ってください。最後にマガジンを抜いたまま、銃口を安全な方向に向け、セレクトターをセミかオートに合わせトリガーを引きハンマーを倒します。(ハンマー・ダウン)

ストック

ストックはスライドさせて長さを調節することができます。リリース・レバーのAの部分を押してロックを外し、ストックをスライドさせ希望の位置で放します。6段階の調整が可能です。

ストックを外す時は、Bの付近を持ってリリース・レバー全体を引き下げ、そのまま後方に抜き取ります。



キャリング・ハンドル

キャリング・ハンドルは本体左側の2本のインターフェイス・ノブを緩めることで外すことができます。スコープやドット・サイトなどのオプティカル・サイトを装着する時に便利です。



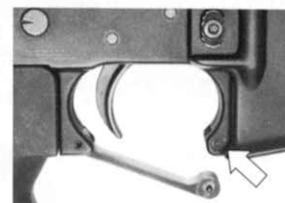
撃ち終わったら

使用しない時はマガジンからBB弾を抜いておくようにしてください。マガジン・スプリングに負担をかけ、部品の变形や破損、および装弾不良の原因となります。ただし、残ったガスは指でバルブを押すなどして無理に放出しないでください。内部のバッキン等を傷め、故障の原因となります。

トリガー・ガード

冬期など、分厚い大きな手袋を装着した時、トリガー・ガードに指が入れないことがあります。そのような場合には、トリガー・ガードを開くことで発射が可能になります。

矢印の部分を細いピンで押し込み、トリガー・ガードを引き下げてください。



ガスの温度と圧力の関係

現在(2008年)、ガス・ブローバック・ガンにはパワー・ソースとして、オゾン層を破壊しないフロンHFC134aが使われています。これはトイガンのほかにも、カー・エアコンや冷蔵庫の冷媒、ポリエチレンの発泡剤、エアゾールの噴射剤などに使用されています。

このフロンをはじめ一般的なガス、すなわち気体の圧力と温度と体積の間には、ある規則があることがわかっています。それがボイル=シャルルの法則です。つまり「気体の圧力は体積に反比例し、温度に比例する」というものです。これを式で表すと、

$$P=k\frac{T}{V}$$

(Pは圧力、Vは体積、Tは絶対温度、kは状態変数) 変形すると

$$k=\frac{PV}{T}$$

これをマガジン内のフロンHFC134aで考えると、kは一定で、気化室の容積(体積)も一定なので、ガス・ブローバック

の作動でガス圧(P)が小さくなると、温度(T)も小さくならなければならないことがわかります。つまり作動させるごとにどんどん温度は下がり、圧力も低くなってしまふのです。結局、対策としては温度を上げるしかありません。

ただし、ガス・ブローバックの作動では、使用適温は20~25℃といわれています。40℃に達するとガス圧が高くなりすぎるので危険です。特にガス・ボンベは直射日光の当たるところに出したり、真夏の車内に置き忘れたりしないように充分注意しなければなりません。

逆に、真冬にフルオートなどでマガジンの温度が急激に下がるような時は、ショート・バースト射撃をうまく使い、下がり過ぎないように適度なインターバルを置くか、正常な圧力の予備マガジンと交換しながら使用するのが、快適にガス・ブローバックを楽しむコツです。

フロンガスの特性を知って、安全に楽しく遊びましょう。

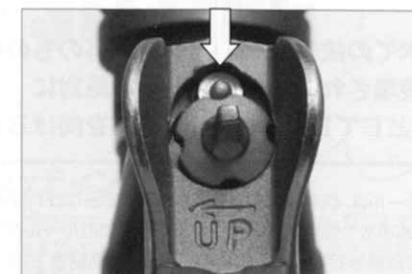
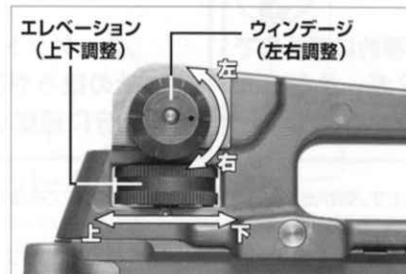


WAスーパーガス500g 1,260円(税込)

サイト調整(サイト・イン、ゼロ・イン)

使用するBB弾や射撃距離によっては、工場出荷時のサイトが合わないこともあります。射撃を開始する前にWAハイスベックBB弾でよく撃つ距離に合わせてサイト調整することをお勧めします。またホップ・アップを変更した場合も、サイト調整が必要な場合があります。

5~7mくらいまではBB弾が直線的に飛ぶため、3mで合わせてもサイトの調整なしで撃つことができます。それ以上の距離を撃つ時は、あらためてサイト調整を行ってください。



M4シリーズはリア・サイトで上下左右のすべての微調整が可能です。右面に取り付けられているノブがウィンテージ・ダイヤルで、左右の調整をします。その下に水平に取り付けられているドラムがエレベーション・ダイヤルで、上下の調整をします。ダイヤルの調整は一定方向に回した時にカチッという1クリックを基本に行いますが、実銃とは射程距離がケタ違いに短いため、最初は5クリック10クリックといった単位で調整し、センターに近づいたら1クリックずつ微調整してください。

M4シリーズはフロント・サイトでも上下の調整ができます。リア・サイトの上下調整だけでは足りない場合などに使います。矢印のストッパーを押し込みながらフロント・サイトを回転させます。90度単位での調整が可能です。写真で右回転(時計回転)させると弾着が上がり、左回転(反時計回転)させると弾着が下がります。

調整手順

- ①射撃しても安全な方向に新聞紙大の標的紙を貼ります。距離は、10m以下の射撃の場合は3m、10m以上の射撃がしたい場合はその距離とします。その中心にターゲットとなる黒丸を書いてください。
- ②できるだけ銃本体が動かないように、二脚や、砂などが詰まったシューティング・バッグ等のレストを使用して固定します。
- ③「サイティング」でご紹介したいずれかの照準方法を使い、正しい照準(サイト・ピクチャー)で射撃します。最低でも5発以上撃ってください。その弾着のグループの中心を求め、サイトを調整します。再び5発を撃って確認します。その中心がセンターに重なるまで、射撃と調整を繰り返します。

弾着グループの中心が右にある時
ウィンテージ・ダイヤルを左方向に回します。



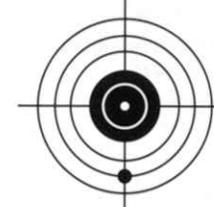
弾着グループの中心が上にある時
エレベーション・ダイヤルを下方向に回します。



弾着グループの中心が左にある時
ウィンテージ・ダイヤルを右方向に回します。



弾着グループの中心が下にある時
エレベーション・ダイヤルを上方向に回します。



弾着グループの中心が上の4つ以外にある時
まず上下か左右のうち大きくズれている方を上の要領で調整し、4つのどれかになるようにします。次に残りの調整をします。



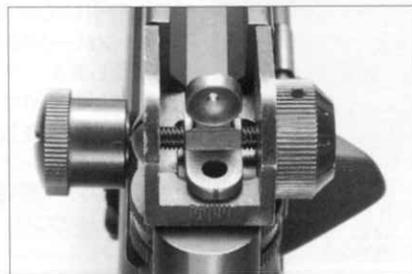
サイティング(照準)

照星(フロント・サイト)、照門(リア・サイト)、標的(ターゲット)を一線上に並べることを3点照準といいます。色々な方法があり、自分の一番狙いやすいやり方でやればよいのですが、ここでは基本的な2つの方法をご紹介します。

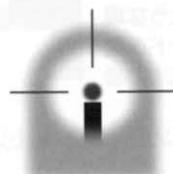
人間の目は距離の違う3つのものすべてにピントを合わせることはできません。そこで射撃ではフロント・サイトにピントを合わせて照準を行います。



M4シリーズのリア・サイトはL型のフリップ・アップ・タイプです。指で直接倒したり起こしたりして使います。実銃では0-2が近距離用で0~200mの射撃に使用します。孔照門の孔(ビーブまたはアパーチャー)がやや大きくなっています。

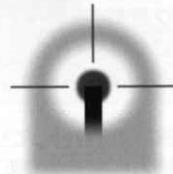


L型サイトを後方に倒すと実銃では遠距離用の小さなビーブになります。トイガンでは好みによって使い分けると良いでしょう。小さいビーブは精密な射撃に向いていますが、視界がせまく、照準にも時間がかかりじっくり狙うのに適しています。大きいビーブは、精度はそれほど高くありませんが、視界が広く、素早い射撃に適しています。



ターゲット・サイティング(正六時照準白一線)

リア・サイトの中心にターゲットを置き、その下にフロント・サイトが来るようにします。ターゲットとフロント・サイトとはくっついてしまわないよう、わずかな隙間(白一線)を開けるようにします。大変精度の高いサイティングですが、注意しなければいけないのは、ターゲットの見かけのサイズがフロント・サイトと同じに見えることです。大きなターゲットの場合は、フロント・サイトと同じサイズの円を想定して狙わなければなりません。この図がターゲット・サイティングの正しいサイト・ピクチャーです。M4シリーズの場合、3mなら黒点の大きさは直径12mm程度となります。



センター・サイティング(コンパクト・サイティング)

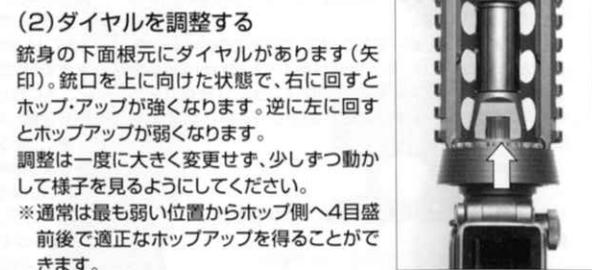
リア・サイトの中心にターゲットを置き、フロント・サイトのてっぺんの中心がその中心に重なるようにします。あまり高い精度は期待できませんが、素早いサイティングが可能です。またターゲットのサイズは関係なく、命中させたい点に直接合わせることができます。ただ、ターゲットが黒っぽいとフロント・サイトと同じに見えるため狙いにくくなります。この図がセンター・サイティングの正しいサイト・ピクチャーです。

ホップ・アップ

BB弾に逆回転(スライス回転)を掛け、パワーはそのままでより遠くへBB弾を飛ばす機構です。そのため7mを超えたあたりから効果がかかります。WAハイスベックBB弾でよく撃つ距離に合わせてホップ・アップ量を調整してください。それらが変わった場合は、あらたに調整をし直す必要があります。



警告 ホップ・アップを極端に変更すると、BB弾が思わぬ方向に飛ぶことがあります。人や動物、壊れやすいものなどに当たって破壊したり、跳弾となって大変危険です。充分気をつけてください。



注意 ホップ・アップはBB弾に強制的な抵抗を加えるために、ガスの圧力等使用状況により弾道のバラツキが生じます。必ずしも安定した弾道は得られないものとご理解ください。

セーフティ・ルール 実銃のテクニックを紹介

安全のため、すべてに優先しなければならないルール。

鉄則 ①

すべての銃は
いつも装填されている
ものとして扱え

鉄則 ②

標的以外のものには
絶対に
銃口を向けるな

鉄則 ③

サイトが標的に載るまで
トリガーから
指を離せ

鉄則 ④

ターゲット
(とその後ろや回り)
を充分に確認しろ

セーフティ・ルールは、銃を手にするすべての者が守らなければならない銃器取扱の鉄則です。弾が出るものなら実銃でもトイ・ガンでも変わりはありません。思わぬ事故や怪我をなくすために、上の4つのルールを暗記し、必ず遵守してください。

これらは射撃訓練施設、ガンサイト・アカデミーの創始者で、「コンバット・シューティングの父」、「.45オートの神様」と呼ばれた、ジェフ・クーバー（1920～2006）が作ったものです。現在では全米の多くの射撃訓練施設、法執行機関、軍などで採用、重要な規範とされています。

このほか、シューティング・ギア（射撃用具）として、シューティング・グラス、イアー・プロテクター（耳栓など）は必需品とされています。トイ・ガンで遊ぶ時は、必ずシューティング・グラスを着用してください。

これらを守ってこそ、一人前のシューターといえるのです。

スタンディング

射撃の基本がこのスタンディング（立射）です。両腕がどこにも支えられていないので、オフ・ハンド射撃ともいいます。通常、セミ・オートの単発射撃であれば、イラストのように前傾姿勢にならずとも、直立姿勢でもかまいません。ただ、フル・オート射撃では連続して反動が発生するため、イラストのように前傾になって銃を押さえ込むようにしないとスタンディングでは正確な射撃ができません。

スタンディングは、まず標的に正対して立ったら、足を肩幅に開き、利き腕の側の足を半歩ほど引き半身に構えます。ストックを鎖骨の横の凹みに当て、サポート・ハンドでスリングをはさみながら銃を支えます。この時、サポート・ハンドはハンド・ガードをつかむのではなく、軽く添える程度にしておきます。

次に体重を前の足に移します。後ろの足が伸び切るくらいが目安です。こうすることで、程よい前傾の体重バランスとなります。

セミ・オート射撃でもこのスタンスを心がければ、ふいにフル・オート射撃をするようなことがあっても、しっかりと対処することができます。フル・オート射撃の場合、2発目以降の命中率が悪くなることから、タクティカルではトリガーにかかる指のコントロールで3発程度のショート・バースト射撃するように指導しています。

ニーリング

相手から撃たれないためには体を低くすることが重要です。余裕があるなら膝をつき、ニーリング（膝射）姿勢をとります。また車両などの陰に身を隠して射撃する時にも有効です。ニーリングにもいくつかのバリエーションがあり、スピードを優先しオフ・ハンドで構えるスピード・ニール（スタンダード・ニール）、イラストのようにサポート・ハンドを足の膝で支えるより安定したプレイスト・ニール、壁の陰から身を乗り出して撃つのに適した両膝を地面につくカリフォルニア・ニール（ダブル・ニール）などが知られています。

もっとも安定するイラストのプレイスト・ニールでは、膝の上に肘を載せると骨同士で滑ってしまうため、腕の上腕三頭筋のあたりを載せるようにします。

ニーリングの際は、膝を保護するため、できるだけニー・パッドを使用してください。

タクティカル・キャリー

法執行機関や軍の特殊部隊、タクティカル・シューティング・スクールなどで教えている銃の携帯方法です。特殊部隊では3ポイントのタクティカル・スリングを使用しますが、通常のスリングでもこのようにキャリーすることができます。

こうすることによって、銃を携帯していても両手を自由に使うことができます。またサイドアームのピストルを使う時も、ほとんどジャマになりません。

銃には常に弾薬を装填し、セレクターはセーフの位置にしておきます。これで、とっさの発砲にも対処できます。通常、セレクターの位置確認がしやすいように、M4/M16では左面を正面に向けておきます。セレクターが衣服などに引っかかってセーフの位置から外れてしまうことも防ぐことができます。右面にあるダスト・カバーは必ず閉めます。

SQUAT POSITION



スクワット・ポジション

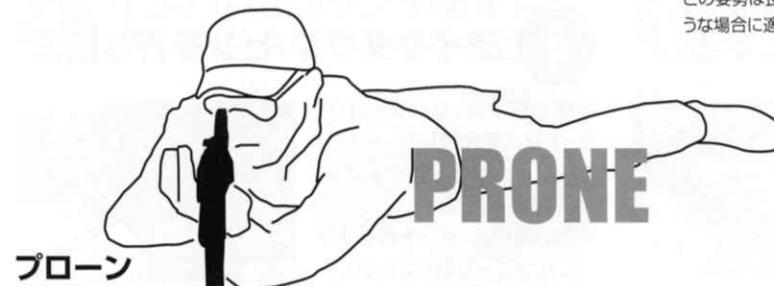
地面がぬかるんでいるような時や、ガラス等の破片が散乱し膝がつかないような時に有効なのがこのしゃがみ撃ちです。スタンディングから素早く移行することができます。また素早く立ち上がることもできます。ニー・パッドがない時に姿勢を低くするには最も適した射撃方法でもあります。直立のスタンディング姿勢のままストンとお尻を落とします。体は半身の構えのままです。ポイントは両肘を両膝の間にはさんで固定することです。こうすることによって正確な射撃ができるようになります。

SITTING



シッティング

すわり撃ちです。直立のスタンディング姿勢から両足を交差させてお尻をつきます。ちょうど、あぐらをかいた形です。基本は半身の構えのままです。この姿勢には、イラストの状態から少し足を前に出して足首の辺りで交差させるものや、体育座りのようにして足を開くものなどがあります。いずれもポイントはスクワットと同様に、両肘を両膝の間にはさんで固定することです。この姿勢は長時間でも疲れにくいので、緊急性がなく、相手を監視するような場合に適しています。



プローン

最も撃たれる危険性が少なく、最も安定した射撃ができる姿勢です。日本語では伏射といいますが、標的に対してサポート・ハンドの側の肩が前に出るようになるので、必然的に胸、腰、足はサポート・ハンド側に角度を付けて流れる形となります。基本は両足を伸ばして広げ、つま先は外側に開くようにしてかかとを地面に付けます。ただし、体の傾きは人によって違うので、一概に標的に対して15度などというふうには決めることはできません。では、どうするかというと、まず自分の狙いやすい位置でプローンの姿勢を取り、標的に狙いを定めます。この状態で目をつぶり、2～3秒して目を開けた時にちゃんと標的にサイトが載っていればOKです。もしズレていれば体の向きを修正し、再び目をつぶってチェックを繰り返します。正しい姿勢が得られたら、それを覚えておくようにしましょう。そして、撃つ方向を変えたい時は、肘だけを動かすのではなく、体全体を回転させるようにします。

プローンのバリエーションとしては、利き腕側の足の膝を少し曲げるエストニア・プローン、仰向けになるリバース・プローン、最近タクティカルで使われるようになったニーリングとプローンの間接姿勢を取るモディファイド・プローンなどがあります。

M4/M16をもっと知るための 〈おすすめ BOOK & DVD〉

「最強軍用銃M4カービン」

飯柴智亮・著 / 並木書房 1,890円(税込)

<http://www.namiki-shobo.co.jp/>

現役のアメリカ陸軍第82空挺師団の中尉である著者が、アフガニスタンなどで実際にM4カービンを使用した自らの体験を元に、そのメカニズム、使用弾薬、製造工程、メンテナンス、アタッチメント、カスタム化、セットアップ、射撃技術、射撃姿勢、マルファンクション・クリア、訓練方法などにいたるまで詳細に切り込んだ力作です。まさにM4カービンを知るには書かせない1冊となっています。全国の書店にて絶賛発売中です。



THUNDER RANCH TRAINING SERIES 「URBAN RIFLE」

Clint Smith / Publishers' Development Corp. \$55.95(送料込み)、英文のみ、字幕なし

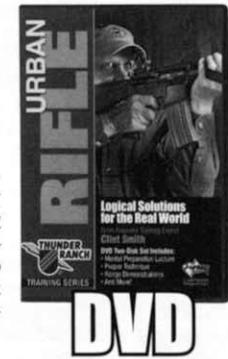
サンダー・ランチ公式サイト

<http://www.thunderranchinc.com/>

アメリカン・ハンドガンナー公式サイト

<http://www.americanhandgunner.com/>

全米ナンバーワンと言われる射撃訓練施設「サンダー・ランチ」の創設者クリント・スミスが、実際に施設で教えているタクティカル・シューティング・テクニックの一部を収録したDVDです。ディスクは2枚組で、1枚目はメンタル面の心構えなどのレクチャー、2枚目はレンジでの実際のトレーニングとなっています。テクニックを習得したい人には必携のDVDで、上記の公式サイトからオンライン・ショッピングで購入することができます。

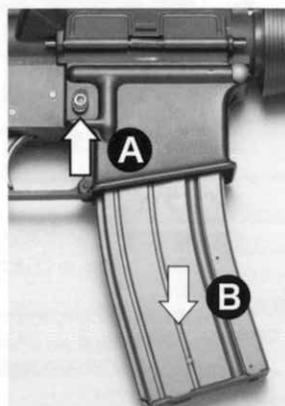


KNEELING

分解 当製品は実銃どおりの通常分解(フィールド・ストリッピング)が楽しめます。以下の手順に従って行ってください。

1 マガジンを抜く

マガジン・キャッチを押して(A)、マガジンを下方に抜き取ります(B)。



警告 分解作業中に誤って暴発させると、怪我をする恐れがあり大変危険です。まず最初にマガジンを抜き、残弾のないことを必ず確認してください。

3 セレクターをセーフにする

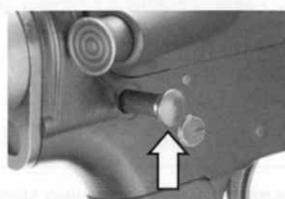
閉鎖を確認したら、セレクターを「SAFE」(安全)に合わせます。これでトリガーは引けなくなります。

もしセレクターが「SAFE」へ回らない時はハンマーが倒れていますので、もう一度チャージング・ハンドルをいっぱいまで引いてからもどし、ハンマーを起こしてください。



5 テイクダウン・ピンの確認

テイクダウン・ピンが正しく押出されるとこの位置で止まります(矢印)。これ以上押し出さないように注意してください。



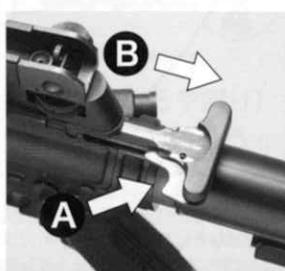
注意 テイクダウン・ピンを力まかせに押し出すと、規定位置で止まらず抜け落ちてしまうことがあります。紛失等の原因になりますので、おやめください。

重要 無理な分解や、本書に記載されている以外の分解・改造は、組み違いによる誤作動や部品の破損・紛失の恐れがありますので絶対におやめください。

2 残弾の有無を確認する

チャージング・ハンドル・ストッパー(A)をはずしてチャージング・ハンドルを後方へ引き、ボルトを後退させ、銃身(薬室、チャンバー)内にBB弾が残っていないことを確認します。もし残弾がある時は抜き取ってください。

その後、チャージング・ハンドルをもどしたら、P.6の操作手順6~7の手順に従って、ボルトが完全閉鎖されていることを確認してください。完全閉鎖されていないと、これ以上分解することはできません。



4 テイクダウン・ピンを押し出す

本体左側から、ローディング・ロッドなどを利用して、メイン・フレームにあるテイクダウン・ピンを押し出します。

※固い場合は、ポンチ等を使ってハンマーで軽くたたいてください。



6 アッパー・レシーバーを持ち上げる

テイクダウン・ピンが止まったら、リア・サイト部分を持ち上げるようにして、ゆっくりとアッパー・レシーバーを上方へ回転させます。

※アッパー・レシーバーを持ち上げた状態は前方基部に負担がかかります。必ず両手で支えるようにしてください。



注意 銃口を上に向けて分解すると、ボルト・アッセンブリやチャージング・ハンドルが不意に抜け落ちることがあります。部品が落下すると、事故や怪我および部分を破損する恐れがあります。銃本体を水平に持って作業するようにしてください。

7 ボルト・アッセンブリとチャージング・ハンドルを抜き出す

アッパー・レシーバーを持ち上げた状態で、チャージング・ハンドル・ストッパーをはずしてチャージング・ハンドルを後方に引くと、ボルト・アッセンブリとチャージング・ハンドルをアッパー・レシーバーから抜き出すことができます。



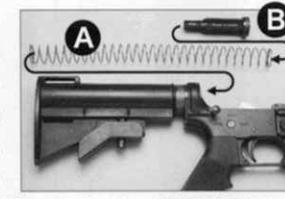
注意 チャージング・ハンドルだけを持っているとボルト・アッセンブリが落下することがあります。必ずボルト・アッセンブリを手で支えるようにしてください。

組立

分解の逆の手順をたどります。

1 リコイル・スプリング・ガイドとリコイル・スプリングをもどす

先にリコイル・スプリングをストックの中にもどします(A)。次にリコイル・スプリング・ガイド(B)をリコイル・スプリングの先端にはめ、ゆっくりとストックの中に押し込みます。バッファ・リテーナーが掛かったことを確認してから、ゆっくりと手を放してください。



注意 バッファ・リテーナーが掛からないうちに手を放すと、リコイル・スプリングの力で、リコイル・スプリング・ガイドが勢い良く飛び出してくる恐れがあります。大変危険ですので、必ずバッファ・リテーナーが掛かったことを確認してください。

3 アッパー・レシーバーをもどす

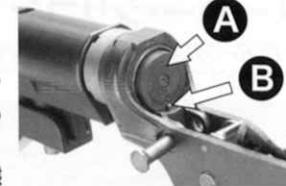
ボルト・アッセンブリとチャージング・ハンドルがアッパー・レシーバーに収まったら、ゆっくりとアッパー・レシーバーをメイン・フレームにかぶせるようにもどします。この時ハンマーは起こした状態にしておきます



注意 アッパー・レシーバーが完全にもどらない場合は、テイクダウン・ピンが押し込まれていないか、異物がはさまっていないか確認してください。それでも完全に収まらない場合は、部品の破損や変形が考えられます。無理に組み立てようとせず、販売店等にご相談ください。

8 リコイル・スプリング・ガイドとリコイル・スプリングを抜く

まずリコイル・スプリング・ガイド(A)を指でしっかりと押さえ、次にローディング・ロッドや割りばしなど本体を傷つけないものでバッファ・リテーナー(B)を下へ押し込みます。その状態でAを持ったまま、ゆっくりと前方へ抜いてください。以上で通常分解は終了です。



注意 リコイル・スプリングの力で、リコイル・スプリング・ガイドが勢い良く飛び出してくる恐れがあります。大変危険ですので、しっかりと手で押さえながら取り外してください。

2 ボルト・アッセンブリとチャージング・ハンドルをもどす

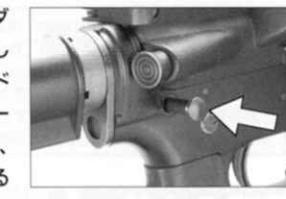
写真のようにボルト・アッセンブリにチャージング・ハンドルを被せるように載せます。この状態で銃口を下に向けたアッパー・レシーバーの後方から、2つを重ねたままもどします。チャージング・ハンドル・ストッパーが掛かるまでボルト・アッセンブリを押し込んでください。



注意 ボルト・アッセンブリとチャージング・ハンドルがアッパー・レシーバーに完全に収まらない場合は、異物がはさまっている可能性があります。もう一度分解して異物を取り除いてください。それでも完全に収まらない場合は、部品の破損や変形が考えられます。無理に組み立てようとせず、販売店等にご相談ください。

4 テイクダウン・ピンをもどす

右面に突き出ているテイクダウン・ピンを指でゆっくりと押し込みます。チャージング・ハンドル・ストッパーをはずしてチャージング・ハンドルを後方に引き、ボルトがいっぱいまで後退するか確認します。チャージング・ハンドルをもどしたら、セレクターを「SEMI」に合わせ、銃口を安全な方向に向けてからトリガーを引きます。ハンマーが落ちれば終了です。

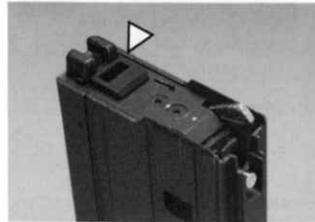


警告 確認作業が終了まで、絶対にマガジンを本体にもどさないでください。誤って暴発させると、怪我をする恐れがあり大変危険です。また、作業終了後も、撃たない時はマガジンを外し、本体と別に保管しておくことで、暴発事故等を防ぐことができます。

快調な作動を得るため、必要に応じて下記のメンテナンスを行いましょう。

スーパー・シリコン

マガジンのガス・ルート・パッキン内へ約1秒スプレーしてください。

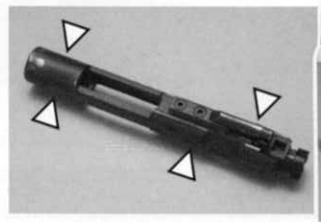


通常分解でボルト・キャリアを取り出し、ローディング・ノズルを引き出してピストンのリング部分へ約1秒スプレーしてください。



S.G.C.

通常分解でボルト・キャリアを取り出し、外側の擦れる部分へ約1秒スプレーしてください。

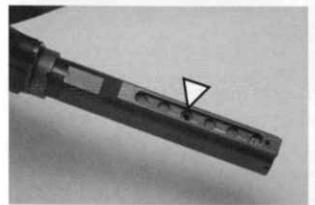


通常分解し、メイン・フレームの中にあるトリガー、ハンマーの周囲に約1秒スプレーしてください。

警告 銃身内部やラバー・チャンバーには、絶対にスプレーしないでください。銃身に BB 弾が詰まったりすると、正確に発射ができなくなります。

ブローバック・スピード・グリス

ストックのリリース・レバー全体を引き下げ、ストックを抜き去ります。バッファ・チューブの固定穴の根本側より3番目の穴から、内部のリコイル・スプリングに2〜3滴たらしてください。



スーパー・シリコン 70ml ¥525(税込) S.G.C. 80ml ¥525(税込) ブローバック・スピード・グリス 2本入 ¥840(税込)

重要

- マガジンのガスについて
メンテナンスや保管の際にガス抜きする必要はありません。バルブを指などで押し込んでガスを抜くと、内部のパッキンを傷め、故障の原因となりますので、絶対にしないでください。
- マガジンの残弾について
ご使用後はマガジン内のBB弾を取り出してください。マガジンにBB弾を入れたまま放置したり、持ち歩くことはおやめください。マガジン・スプリングに負担をかけ、部品の変形や、装弾不良を引き起こす原因となります。
- 銃身のメンテナンス
銃身内部が汚れているとBB弾が正常に発射できなくなる場合があります。その場合は綿棒等で汚れを拭き取ってください。

ご使用上の注意 ●正常な作動を得るためには、必ず適度の注油を行ってください。注油を欠かすとパッキン類の消耗を早め、故障の原因となります。●注油は上記指定箇所少量を行うようにしてください。ご使用前または使用後、定期的に行うのが上手なお手入れのコツです。●銃身内部やチャンバーおよびローディング・ノズル内部等の機関部には、絶対に注油しないでください。故障の原因となります。●当製品に使用しているパッキン類は消耗品です。消耗したパッキン類では正常な作動は得られませんので、早めに交換してください。●当製品は改造防止のために法規で定められた強度で製造されています。そのため各部品の耐久性には限度があり、消耗した部品は交換を必要とする場合があります。あらかじめご了承ください。なお耐用期間は使用状況により大幅に異なります。

保管の方法

- 別々に保管
マガジン内とチャンバー内に残弾がないことを確認してから、なるべく銃本体とガス・ポンベやBB弾は別々に保管するようにしましょう。
- 箱やガン・ケースに入れる
マナーとして、保管の際は銃をむき出しにしないで、付属の箱や市販のガン・ケース等に入れましょう。
- 子供などの手の届かない場所に
対象年齢以下の幼児や子供、操作のわからない人、マナーが守れない人の手が届かない場所に保管してください。銃の保管は必ず持ち主の責任で行ってください。

保管する際のお願い

- 銃やガス・ポンベは高温になる場所や車内等、直接日光の当たる場所に放置や保管しないでください。爆発の恐れがあり危険です。
- 使い終わったガス・ポンベは爆発する危険がありますので、火中に投げしないでください。また破裂する際はすべて使い切ってください。
- ガスが人体にかかることと低温ヤケドの恐れがあり大変危険です。子供や操作のわからない人等の手が届かない場所に保管してください。
- メンテナンス・オイル類は直接吸引したり飲み込んだりすると、健康を損なう恐れがあります。子供や操作のわからない人等の手が届かない場所に保管してください。
- BB弾は撃ち終わった後は回収しましょう。子供が飲み込んだり等、思わぬ事故・事件の原因となります。また、屋外での使用は環境を損なう恐れがありますので、ご注意ください。

故障かな?と思ったら

このようなときは……	原因	対処方法
作動しない	ガスが入っていない/ガス切れ	WAニュー・スーパー・ガスを注入する(5ページ参照)
引き金が引けない	ハンマーが起きていない	チャージング・ハンドルを引いてもどす(6ページ参照)
	セレクターがセーフになっている	セレクターをセミオートに合わせる(7ページ参照)
	ボルトが完全閉鎖していない	フォワード・アシスト・ノブを押す(6ページ参照)
弾が出ない 飛距離が短くなった	ラバー・チャンバー内に弾が詰まっている	詰まったBB弾を取り出し、WA純正のBB弾を使用する 詰まったBB弾を取り出し、ラバー・チャンバー内のオイルをふき取る
	ラバー・チャンバーが摩耗している	ラバー・チャンバーを交換する★
	ローディング・ノズル破損による給弾不良	ローディング・ノズルを交換する★
ボルト・ストップがかからない ブローバックの動きが弱い	マガジン内のガスが冷えている	マガジン内のガス圧が回復するまで、少し間を置いてから使用する
	オイル不足による抵抗過多	要所に適度の注油を行う(15ページ参照)
	ガス・ルート・パッキンの摩耗による圧力不足	ガス・ルート・パッキンを交換する★
引き金を引くとガスがすべて吹き出す	ピストン・リングの劣化によるローディング・ノズルの作動不良	ボルト・キャリア内部にWAスーパー・シリコンを注入する(15ページ参照) ピストンリングを交換する★
	マガジンの装填不良	マガジンを奥までしっかりと入れる(5ページ参照)
	マガジン内のガスが冷えている	マガジン内のガス圧が回復するまで、少し間を置いてから使用する
マガジンにガスが注入できない	ガス・ルート・パッキンの欠落	ガス・ルート・パッキンを定位置に付け直す
	マガジンのバルブ・ロックが上がっている	バルブ・ロックを押し下げてから再注入する(5ページ参照)
マガジンからガスが漏れる	オイル不足によるバルブの閉鎖不良	バルブにWAスーパー・シリコンを注入する(15ページ参照)
	オイル不足によるバルブの閉鎖不良	バルブにWAスーパー・シリコンを注入する(15ページ参照)
	バルブ周辺のパッキン・Oリング類の劣化	パッキン・Oリング類を交換する★
マガジンからガスが漏れる	バルブの変形による閉鎖不良	バルブを交換する★

★の場合は部品の交換をします。お買い上げの販売店、またはWAマグナ・センターにご相談ください。

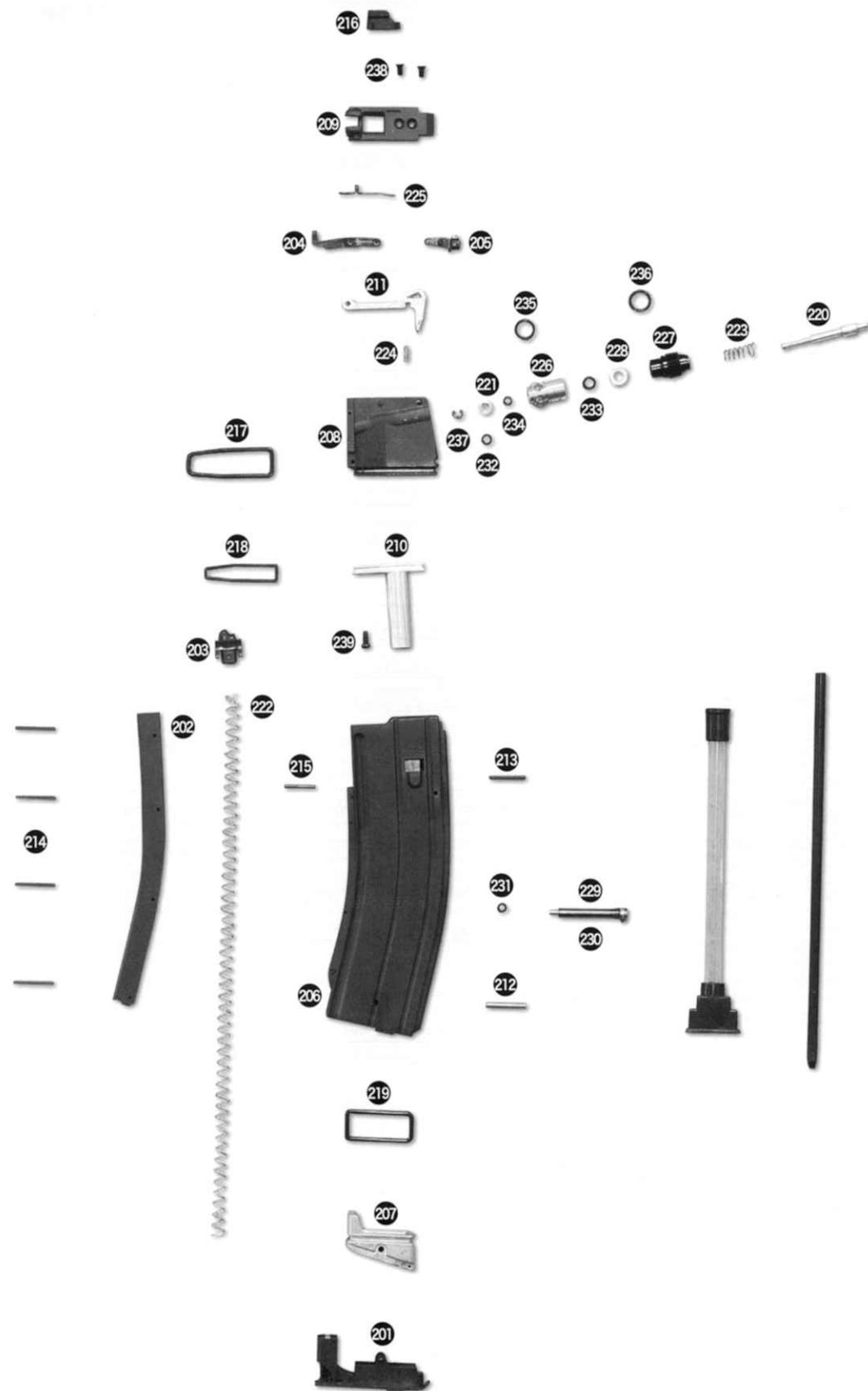
銃本体—パーツリスト

Table with 4 columns: No., 部品番号, 取説パーツ名, 名称・価格. Lists parts for the rifle body including components like the receiver, trigger, and magazine.

※◎は1個の価格です。 ※仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

銃本体—パーツリスト

Table with 4 columns: No., 部品番号, 取説パーツ名, 名称・価格. Continues the list of parts for the rifle body, including the magazine, trigger assembly, and various pins and springs.



No.	部品番号	取説パーツ名	名称・価格
201	AR-AA-0701	M4A1 マガジン・バンパー	¥1,050
202	AR-AA-0702	M4A1 フロント・カバー	¥1,260
203	AR-AA-0703	M4A1 マガジン・フォロアー	マガジン・フォロアー・セット (No.203 ~ 205) ¥1,029
204	AR-AA-0704	M4A1 ボルト・ストップ・レバー A	
205	AR-AA-0705	M4A1 ボルト・ストップ・レバー B	
206	AR-AA-0706	M4A1 マガジン・ケース	¥5,775
207	AR-AA-0707	M4A1 マガジン・ベース	マガジン・インナー・パーツ・セット (No.207 ~ 211) ¥3,360
208	AR-AA-0708	M4A1 インナー・ブロック	
209	AR-AA-0709	M4A1 マガジン・リップ	
210	AR-AA-0710	M4A1 マガジン・プラグ	
211	AR-AA-0711	M4A1 バルブ・ロック	マガジン・ピン・セット (No.212 ~ 215) ¥1,050
212	AR-AA-0712	M4A1 マガジン・ベース・ピン	
213	AR-AA-0713	M4A1 インナー・ブロック・ピン	
214	STD-131	M4A1 フロント・カバー・ピン (φ1.5×22) ×4	
215	STD-152	M4A1 インナー・ブロック・ピン B (φ2×22)	マガジン・バッキング・セット (No.216 ~ 219) ¥1,890
216	AR-AA-0714	M4A1 ガス・ルート・バッキン	
217	AR-AA-0715	M4A1 インナー・ブロック・バッキン	
218	AR-AA-0716	M4A1 プラグ・バッキン	
219	AR-AA-0717	M4A1 ベース・バッキン	¥1,995
220	AR-AA-0718	M4A1 バルブ	¥315
221	AR-AA-0719	M4A1 バルブ・キャップ	¥1,050
222	AR-AA-0720	M4A1 マガジン・スプリング	¥315
223	AR-AA-0721	M4A1 バルブ・フリング	¥210
224	AR-AA-0722	M4A1 バルブ・ロック・スプリング	¥368
225	AR-AA-0723	M4A1 フォロアー・ロック・レバー	マガジン・バルブ・セット (No.226 ~ 228) ¥1,680
226	AR-AA-0724	M4A1 バルブ・スリーブ A	
227	AR-AA-0725	M4A1 バルブ・スリーブ B	
228	STD-571	M4A1 バルブ・ワッシャー M5×φ10×0.8 ユニクロ	チャージ・バルブ・セット (No.229 ~ 231) ¥1,029
229	AR-AA-0726	M4A1 チャージ・パイプ	
230	AR-AA-0727	M4A1 チャージ・バルブ (小径型)	
231	STD-034	Oリング 6×4.4×0.8	マガジン・バルブ・バッキン & Eリング・セット (No.232 ~ 237) ¥630
232	STD-028	Oリング 5×3×1 1種 B	
233	STD-004	Oリング S-5	
234	STD-033	Oリング 6×4×1 1種 B	
235	STD-008	Oリング S-9	
236	STD-009	Oリング S-10 1種 A	
237	STD-525	Eリング E-2.5	¥315
238	STD-323	M3-6皿キャップ・スクリュー ×2	¥105
239	STD-334	M4A1 プラグ・スクリュー M3×8 ナベ	

サプライ用品

- ①スーパーガス(500g) ¥1,260円(税込)
- ②ハイスpekBB弾(0.25g×2,000発入) ¥1,050(税込)
- ③スーパー・シリコン(70ml) ¥525(税込)
- ④S.G.C.(80ml) ¥525(税込)
- ⑤ブローバック・スピード・グリス(2本入) ¥840(税込)
- ⑥スベア・マガジン ¥9,975(税込)
- ⑦バレル・レンチ ¥1,260(税込)



通信販売の方法 部品のご注文はWA渋谷店へ

- パッキン、Oリング、ピン、スプリング、ネジ等の小さいパーツをご注文の場合は、郵便による通信販売をご利用ください。ご注文の機種名、パーツ名、部品番号、ご注文数量と、お届け先のご住所、電話番号、お客様のお名前をもちろん明記してください。商品代金+送料(手数料込み)¥300に、消費税(×0.05)を加えた金額を「ウエスタン・アームズ渋谷店」まで、現金書留か郵便為替でお送りください。ご注文の際は事故防止のため書留郵便をご利用ください。(合計金額¥1000以下の場合切手代用可)

※通信販売でパーツをお求めの場合は事前にお電話にて在庫の確認をしていただければ幸いです。尚ご注文はおつりの出ないようにお願いいたします。

- スベア・マガジン、ガス・ポンペ、BB弾、オイル等用品類や、フレーム、スライド等の大きなパーツ、金属製の重いパーツ等をご注文の場合は、代金着払いの宅急便をご利用ください。下記「ご注文専用ダイヤル」にてうけたまわります。お支払いには別途消費税と、宅急便の送料・手数料がかかります。(合計金額が¥10000以上の場合、送料・手数料は無料にてお届けします)お支払いには各種クレジットカードもご利用いただけます。

ウエスタンアームズ渋谷店

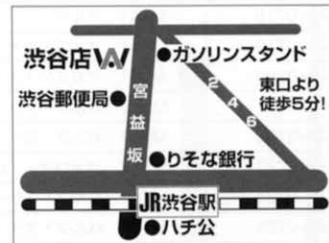
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-8-5グローリア宮益坂ビル1F

TEL/03(3407)5922 FAX/03(3407)0502

ご注文専用ダイヤル 0120-1911-45

●年中無休

●平日ひる12時～夜8時まで 日曜・祭日: あさ11時～よる7時まで



アフターサービス 修理のご依頼はWAマグナ・センターへ

- 当製品の調子が悪いときは、まず修理を依頼される前に、15頁の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも調子が良くならないときは、お買い上げの販売店にご相談いただくかWAマグナ・センターに修理をご依頼ください。
- WAマグナ・センターに修理をご依頼になる際は、具体的な故障内容、お客さまのご住所、お名前、お電話番号をもちろん明記の上、下記住所まで宅急便でお送りください。 ※見積りご希望の方は、その旨お書きそえください
- 原則としてお送りいただく送料はお客様のご負担となります。また修理には修理工賃と、パーツを交換した場合はパーツの代金がかかります。あらかじめご了承ください。修理代金のお支払いは、代金着払いの宅急便にてお伺いします。
- お預かりした修理品は通常2週間程でお届けできますが、修理品が混み合っている場合やパーツの在庫状況によりましては、それ以上お待たせする場合もございます。あらかじめご了承ください。
- 純正品以外のパーツを組み込んでいる場合や、改造品または改造が原因の故障等は修理をお受けできませんので、ご注意ください。

WAマグナ・センター

〒145-0065 東京都大田区東雪谷5-10-7 TEL/03(3729)9492

●定休日:日曜、祝祭日 ●あさ9時～よる6時まで